

留 学 報 告 書

記入日:2018年6月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学デービス校 現地言語: University of California, Davis
留学期間	2017年9月～2018年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年6月24日
明治大学卒業予定年	2019年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月中旬 2学期:1月上旬～3月下旬 3学期:4月上旬～6月中旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	\$18,995	2,127,400円	
宿舍費	\$8,450	946,400円	
食費	\$5,000	円	
図書費	\$500	円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費	\$200	円	
医療費		円	
保険費		110,000円	形態:
渡航旅費		150,000円	
雑費	\$500	円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	\$33645	260,000円	3895175円

渡航関連

渡航経路:

渡航費用

チケットの種類	
往路	90,000 円
復路	70,000 円
合計	160,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

google フライト

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

アパート

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学が勧めるアパートリストから選んだ

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

アパートとの契約となると、1年契約になる場合が多いので、1年未満でアパートに住む場合は Facebook などですパブリスの募集を見ているのもいいと思う。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学プログラムのオフィスで相談した

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学やアパートから犯罪情報のメールは来るが、重大なものはなく、実際に危険な目に遭ったことも一切なかった。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

アパートの Wi-Fi は快適、大学の Wi-Fi は図書館や昼時の学食など、混んでいるところでは遅いこともあったが、最低限の利用には困らなかった。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的に日本のドル建て口座からデビットカード払いをしていたが、アパートの支払いには現地口座の E チェックが手数料がかからないので、バンクオブアメリカで口座を開設し、ATM から引き出したドルを口座に入れていた。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

渡航前に支払いの期限があった。クォーターごとの支払いを選択することもできたが、一括で払った方が安かった。クレジットカードまたは外国送金が選べた。

卒業後の進路について

1) 進路

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
“ America's Promise”: Stories of Community and Identity	共同体と自己の歴史
科目設置学部・研究科	American Studies
履修期間	Fall, 2017
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教授	Dr. Eleftheria Arapoglou
授業内容	アメリカという国を構成する重要な要素である移民について学んだ。
試験・課題など	レポートが数回、期末試験はなく、移民に対するインタビューを行い、まとめたものを提出した。
感想を自由記入	留学生向けに開講された授業で、教授もとても親切で、アメリカでの授業になれるためにもとてもいい授業だった。フィールドワークでエンジェルアイランドに出かけたりして、友人もたくさんできた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Academic Writing	アカデミックライティング
科目設置学部・研究科	linguistics
履修期間	Fall, 2017
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に110分が2回
担当教授	Gim Davis
授業内容	アメリカの大学で求められるレポートの書き方や語彙などの授業
試験・課題など	小テストが多い。定期テストは中間と期末の2回だが、小テストの内容がほとんど。プレゼンが2回あった。
感想を自由記入	授業は丁寧でESLの授業よりも難易度が低かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
The evolution of males and females	男と女の進化
科目設置学部・研究科	Anthropology
履修期間	Winter, 2018
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Dr. Julie Linden
授業内容	男と女の違いを生物学的、文化的に学ぶ
試験・課題など	レポートが3回、プレゼンが1回。定期試験なし。
感想を自由記入	一番興味のある分野でとても楽しかった。プレゼンは完全に自分の興味で好きなことをできたので意欲を持ってできた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Images of America and Americans in Popular Culture	ポップカルチャーから見るアメリカ
科目設置学部・研究科	American study
履修期間	Spring, 2018
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が2回
担当教授	Dr. Eleftheria Arapoglou
授業内容	あらゆるポップカルチャーの中で描かれたアメリカを読み解いていく
試験・課題など	小テストが数回とグループプレゼンが1回、期末テストあり。
感想を自由記入	アメリカ全体のみならず、各州の役割やイメージをアメリカ人の学生と一緒に読み解いていくのがとても楽しかった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2016年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	TOEFL の勉強、申し込み
10月～12月	選考
2017年 1月～3月	選考結果が出る
4月～7月	
8月～9月	出発
10月～12月	秋学期
2018年 1月～3月	冬学期
4月～7月	春学期
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	入学当初からアメリカの大学で勉強することに漠然とした憧れがありました。2年次に留学に行く友人がとて多かったですのですが、当時はまだ具体的に留学することをイメージできず、申し込みを見送りました。留学に行った友人と連絡を取ったり、日々の授業に取り組む中で、少しずつですが自分の将来や、もっと学びたいことが具体的にになっていく過程で、やはりアメリカで勉強したい、と思い、留学を決めました。3年次での1年間の留学は就活やゼミに被ってしまうことから、2年次での留学を大学からは推奨されますが、それでも行きたい理由が見つかったので、躊躇なく申し込みました。もちろん、それらと重なってしまうからこそその苦労もありましたが、少なくとも今は、行ってよかったと思っています。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力はあるに越したことはありませんが、行けばなんとかなるというのも事実だと思います。
この留学先を選んだ理由	第一希望は交換留学だったが、だめだったので授業料負担型だが、カリフォルニアの大学ということで選択。
大学・学生の雰囲気	とにかくキャンパスが広く、町全体も UC デービスの学生ばかりでとてもアットホームな雰囲気。会う人みんなが大学関連の人だった。
寮の雰囲気	学生向けのアパートに住んでいたが、頻りにパーティーがあつて、アパートにもたくさん友達ができる。みんな自立していて、ほどよい距離感で付き合えて楽しかった。
交友関係	最初は留学生の友達がたくさんでき、そこから徐々に交流関係が広がっていく感じだった。授業内で友達を作るのは難しかったが、授業のことを話すくらいは、自分から話しかけたら結構かんたん。英語力には不安があったが、ネイティブでないことが分かると向こうも合わせてくれるので、さっさとばれた方が楽だった。
困ったこと、大変だったこと	東京での生活に慣れてしまっていたので、とにかくやるのがなかった。
学習内容・勉強について	ジェンダーについて、希望通りに学習ができてとても良かった。明治には取れないような、生物学にかなり寄った授業がとても楽しかった。

課題・試験について	とにかく量は多かった。私はアパートで他の学生とシェアハウスしていて、定期テストの時期になるとみんな勉強モードになるので、一人暮らしのときよりは気合が入ってよかった。
大学外の活動について	
留学を志す人へ	英語力よりも、度胸が大切。日本にいたら黙ってても与えられるものが、留学先では与えられません。その代わりに、私のいた環境では、求めればなんでも惜しみなくサポートが受けられました。教授もスタッフも、周りの学生さえ、助けを求めたら彼らにできる限りのことをしてくれました。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業		授業	授業		
	授業		ジム	課題		課題	課題
午後			授業		遊びに行く	課題	課題
	授業	課題			遊びに行く		
夕刻		課題					
夜							